

会 議 録

- 1 会議名
令和6年度 阿賀野市立吉田東伍記念博物館協議会
- 2 開催日時
令和7年3月13日（木）午後3時～午後4時10分
- 3 開催場所
阿賀野市立吉田東伍記念博物館 研修室
- 4 出席者の氏名（敬称略）
 - ・委員 吉田直彦（安田小学校長）、百都政弘、岩野笙子、五十嵐正美、廣田正博（6名中5名出席）
 - ・事務局 小泉教育長 塚野博物館長（生涯学習課長） 大岡課長補佐 北見文化行政係長
渡邊会計年度任用職員
- 5 議題
 - （1）令和6年度事業報告
 - （2）令和7年度事業計画（案）
 - （3）その他
- 6 非公開の理由
なし
- 7 傍聴者の数
0人
- 8 協議の内容

（大岡）

それでは、ご案内の時間になりましたので、これより令和6年度「阿賀野市立吉田東伍記念博物館協議会」を開催させていただきます。なお、この会議は「阿賀野市審議会等の会議の公開に関する要綱」第2条が定めるところの審議会でございますので、本日の会議は市民の皆様に公開いたします。会議録につきましても、のちほど公開いたしますので、ご了解いただきたいと存じます。

最初に、小泉教育長よりご挨拶をいただきます。教育長、よろしくお願いいたします。

（教育長）

皆様、ごめんください。

この4月1日より教育長を拝命いたしました小泉明美と申します。これから皆様方には、大変お世話になります。よろしくお願いいたします。本日は、皆様ご多用の中、令和6年度阿賀野市立吉田東伍記念博物館協議会にご参集いただき、誠にありがとうございます。皆様方は、日頃の活動を通して、阿賀野市の誇りである吉田東伍先生のその偉大な功績と生きた証を研究されたり、偲んだりしながら、広く人々に紹介するための方策を協議し、その実現に努められてこられました。

また、少子化が進む昨今、阿賀野市の未来を担う子供たちに、ふるさと阿賀野市に対する愛着の形成が重視される中、阿賀野市の魅力の一つとして、郷土が生んだ偉人吉田東伍の功績や人となりを伝えようとしてくださっているご努力に素晴らしご取り組みと敬意を表します。

阿賀野市の学校教育に携わる私としては、本当にありがたく心より感謝を申し上げる次第です。本日はこ

れより令和6年度事業報告と令和7年度の事業計画案をご協議いただきますが、忌憚のないご意見を賜り、よりよい計画に練り上げていただきたいと存じます。大変お世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

(大岡)

ありがとうございました。

本会議につきましては、博物館協議会条例第5条に基づき、会長が議長となり、議事進行を図る旨、定められております。このたびは、令和6年度新たにご委嘱申し上げた関係上、本会議をもって会長、副会長を選出いただくこととなっておりますので、選出するまでの進行を館長が代行いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

なお、本日、安田中学校長の長嶋委員は、別会議出席のため、欠席の連絡をいただいております。

それでは館長よろしくお願いいたします。

(塚野館長)

皆様お疲れ様です。

館長の塚野と申します。よろしくお願いいたします。

私は、昨年度生涯学習課に参りましたが、今回、本協議会の開催は初めてでありますので、よろしくお願いいたします。それでは、会長、副会長の選出まで私が進行役を務めさせていただきます。

最初に、本協議会は、コロナ禍が明けて、5年ぶりの開催であり、令和6年度から新メンバーとなりますので、委員の皆様から順に自己紹介をお願いしたいと存じます。

よろしくお願いいたします。

(参加委員の自己紹介)

(館長)

ありがとうございました。

では、お手元の次第3を御覧ください。

会長・副会長の選出でございます。どのようにして選出したらよろしいでしょうか。

立候補、推薦等いかがでしょうか。事務局からの提案はありますか。

(大岡)

はい、会長に五十嵐正美委員・副会長に岩野笙子委員をお願いし、お引き受けいただきたいと考えております。

(館長)

事務局案のとおりでよろしいでしょうか。

今ほど、皆様から異議なしとの発言がありましたので、会長には五十嵐正美委員、副会長には岩野笙子委員にお引き受けいただきたいと思います。それでは、進行を引き継ぎたいと思います。

(会長・副会長挨拶)

(会長)

早速議事に入ります。よろしくお願いいたします。

それでは、引き続き次第4の(1)令和6年度の事業報告について、事務局より説明をお願いします。

(大岡)

それでは、令和6年度事業報告について説明させていただきます。

資料1をご覧ください。博物館主催事業といたしまして、夏休み子ども博物館を7月20日(土)から9月1日(日)まで開催いたしました。夏休み期間中、児童生徒を対象に、博物館を無料で開放し、学習の場所を提供することを目的に実施いたしました。

参加者は、4名です。参加者が少なかった理由といたしましては、例年続く猛暑により、日中の外出の自粛と安田地区では近くにフリーWi-Fiが利用できる「安田交流センター風とぴあ」があることなどが主な理由として考えられます。

同じく博物館事業として、歴史講座「阿賀野のあけぼの part 2」を全3回シリーズで実施いたしました。阿賀野市歴史民俗資料館で令和6年度開催いたしました企画展「阿賀野の石展」とコラボいたしまして、大地に埋もれた郷土の歴史をサブテーマとし、会場を博物館、歴史民俗資料館、「風とぴあ」で開催、延べ84名の参加がありました。

同じく博物館事業として、企画展を9月25日(水)～12月1日(日)で開催いたしました。

今年度の内容は、東伍生誕160年の記念の年で、吉田東伍の前半生立志に至るまでをテーマに開催し、関連講演会等を含め、観覧者995名となりました。

次に、吉田東伍記念博物館友の会との共催事業であります。

星空への招待2024「月と土星」を9月14日(土)安田八幡宮例祭日に合わせ、実施いたしました。当日は、天候にも恵まれ、参加者144名が望遠鏡で月や土星を観測しました。

同じく共催事業として、11月19日(土)安田交流センターにて、市民文化講演会を開催いたしました。にいがた文化の記憶館の石垣学芸員より吉田東伍生誕160年を記念し「相關図からみる吉田東伍ネットワーク」という演題で講演していただきました。参加者は40名でした。

次に、博物館の通年活動であります。収蔵資料の保存、管理、生涯学習支援、他館、大学研究室等の研究機関との連携・相互支援と研究活動報告、公開、刊行、SNSによる情報発信を継続して行っております。今年度は、新潟県の観光協会公式ブログ「にいがた観光ナビ」、新潟県文化課のキッズ向けホームページで紹介をしていただきました。

また、博物館と生家の維持美化活動として6月9日(日)、9月29日(日)に、除草作業等の清掃美化活動を実施しました。

さらに、枠外に記載のとおり、友の会主催事業であるTME(トーゴミュージアムアンサンブル)の演奏会と研究発表会を共催事業として実施いたしました。

加えて、ここに記載はありませんが、はたちを祝う会の対象者の皆さんに、当日渡す封筒へ当館の入場招待券を配布いたしました。利用者は1組2名でした。

その他、10月9日(水)新潟文化の記憶館企画展示「生誕160年記念吉田東伍展」のイベントとして、開催された講演会の講師として、渡邊会計任用職員を派遣し「超域学者吉田東伍の仕事」というタイトルで、講演いたしました。

10月27日(日)には、諸橋轍次記念館において、西潟為蔵没100周年記念郷土の偉人と地方創生フォーラムで「吉田東伍と地方創生」という演題で、同じく渡邊会計任用職員が講演をいたしました。

その他に、今年度大きい支出では、博物館エレベーター作業油交換修繕工事として1,052,700円、生家

中庭にある松の剪定として８８０，０００円がございました。また、博物館叢書として東伍『越後之歴史地理』を刊行いたしました。以上、令和６年度事業報告の説明とさせていただきます。

(会長)

今ほど、事務局より令和６年度の事業報告がございましたが、質問はありますか。

(百都委員)

本年度、生家で私の写真展がありましたが、それがないようです。

(大岡)

はい、その事業は友の会単独の主催事業でありましたので、記載はしていません。

(会長)

その他はよろしいでしょうか。無いようですので、令和６年度事業は承認されました。

続きまして、次第４の（２）令和７年度事業計画（案）について、事務局より提案ください。

(大岡)

それでは、令和７年度事業計画案についてご説明させていただきます。資料２をご覧ください。

令和７年度も引き続き、吉田東伍の偉業や阿賀野市の歴史、文化を再確認できる施設として、事業に取り組んでまいります。

博物館主催事業といたしましては、夏休み子ども博物館を夏休み中に開催いたします。令和７年度も無料で開放し、学習の場所を提供することを目的に実施いたします。

次に博物館事業として、歴史講座を全３回シリーズで実施いたします。令和７年度は、吉田東伍の弟である高橋義彦が編さんした『越佐史料』刊行開始から１００年の節目の年となりますので、それにちなんだ講座内容を予定しています。

同じく博物館事業の企画展を９月～１１月で開催いたします。テーマは、「吉田東伍の蔵書コレクション」とし秘蔵していた蔵書を紹介する予定であります。

次に、吉田東伍記念博物館友の会との共催事業ではありますが、例年通り２つの事業を予定しております。

一つ目は、星空への招待２０２５を９月１３日（土）に実施する予定です。ただし当日は、月が見始める時間が夜遅いことが想定されますので、例年とは違うやり方を検討していきます。

二つ目は、市民向けの講演会を実施する予定です。内容等詳細につきましては、現在検討中です。

続いて、博物館の通年活動であります。これまで同様に継続して、収蔵資料の保存、管理、生涯学習支援、他館、大学研究室等の研究機関との連携・相互支援と研究活動報告、公開、刊行、SNSによる情報発信を行っていきます。

また、博物館と生家の維持美化活動として、６月、１０月に除草作業等を予定しております。

さらに、欄外の友の会主催であるTMEコンサートと研究発表会、２つの事業を共催で行う予定です。

その他、令和７年度は、生家屋根の雨漏り修繕工事として３，４５４千円、施設維持のため電気設備等取換え工事として４，８００千円、トイレの洋式化と洗浄トイレへの改修工事として１，０００千円の予算を計上しております。

簡単ですが、以上で事業計画案の説明とさせていただきます。

(会長)

ただいまの説明に対しまして、ご質問はありませんか

(百都委員)

たまに、学校の先生でも博物館を知らない方がいるように思います。吉田東伍はいろいろなことをやり、教科書に載るような人物になっていますが、知ってもらえてないようです。学校関係者からじっくりこの博物館に来て見ていただき、渡辺さんから詳しい説明を受けてほしいですし、もっと多くの人に知っていただきたい。そんな取り組みをしていただきたいです。

(教育長)

いいご提案有難うございます。

阿賀野市では、郷土に愛着を持ってもらうために、歴史民族資料館や吉田東伍記念博物館を活用し、生涯学習に取り組んでいければと考えていますが、各学校側に希望が届いていないといえますか、ぜひ利用していただけるよう考えてまいります。

(会長)

今のことについて関連して何かありますか。

(渡辺)

ずいぶん昔の話なのですが、安田出身の石塚三郎という人物がおります。彼は、ここで写真の修業をし、東京に行き、歯科医になった人物です。石塚と野口英世は友人関係であります。石塚が野口の母親の写真を撮ってアメリカの野口に送っております。その写真が猪苗代の野口英世記念館に展示してあるのですが、その写真の原版のガラス乾板が当館にあります。東日本大震災の前のことになりますが、その当時、安田小学校の修学旅行コースに野口英世記念館が入っておりました。旅行の事前学習の時に、博物館でそのエピソードを語っておきました。そして、野口英世記念館の学芸員から修学旅行の生徒が行ったときに、サプライズでその話をしてもらいました。その話を聞いた生徒はいい意味でショックを受けたということがありました。仕掛けをして興味づけることができたようです。石塚の写真は常設展示していませんが、有効利用できると思います。現在も、修学旅行は福島に行っていますか。

(吉田委員)

今は、佐渡が多いです。

(渡辺)

そうですか。佐渡も東伍と関係があります。能を形づけた世阿弥と関係があるわけです。世阿弥が佐渡に流されたということを初めて紹介したのが吉田東伍です。東伍の発見によって、世阿弥が佐渡に流されたという証拠が立証されました。佐渡で能が広がったのは、金山奉行がその地に行って趣味として嗜んだからですが、それより以前に世阿弥が流されてきたということは知られておらず、明治42年に東伍が秘伝書を見つけた金島書に記載されている世阿弥の口伝書、それを東伍が発表し、公表しました。その話を修学旅行の事前学習で簡単に説明し、子供たちに印象に残る修学旅行になるように仕掛けられることができると思います。佐渡であれ、福島であれ、興味付けはできます。直接、東伍というよりも、彼のまいた種を利用して、学習に結び付けるということは可能だと思います。阿賀野市でないとできないことなので、ぜひやってみたいなと博物館としては思っております。ただ、やはり、先生方も学校の方でも、事業の枠があってそれをつぶして実施するということが簡単にいかないと思います。でも、ぜひ利用していただきたい。利用できる種はいくらでもあります。

(岩野委員)

関連していいですか、昔一度、博物館で、石塚のガラス乾板の企画展をやりましたが、その時の図録が大変貴

重品であり、インターネットでもすごい値段となっております。阿賀野市には、その乾板はあるけども、長岡の写真が多くあります。それで、長岡で石塚三郎のファンでもあり、石塚三郎を研究している郷土研究家や愛好家の方が、これから時間が経つと、撮った写真の場所がわからなくなると訴えているということです。長岡のある場所だとかわかる方々が亡くなられていくと、場所が特定できなくなると危惧しておられます。阿賀野市で1回だけ写真展をやり、図録も出ているけど、その後続いてないし、なんとか開催してもらえないかと相談されました。簡単にいく話ではないだろうけども、そういう話共有しながら、貴重なものは、皆さんに公開していくという方法を長期的に計画立てていただきたい。野口英世記念館には、石塚三郎の撮影した野口英世のお母さんの写真が大きく飾ってあって、手紙も展示してあり、一緒に行った人はみんな感動しております。だから、当博物館とコラボしてみんなでもっと研究して、どういう風に生かせばよいか検討が必要なんじゃないかと感じます。

それから、もう一つ提案ですが、藤沢周という作家が世阿弥を書いた本を出版しています。ものすごく詳しく書いていて、金島書のこと、舞や風姿花伝のことも書いています。これを書くため、彼は観世流に入門して舞を習い、謡を習って、文章を書いたということです。最近、能楽堂で藤沢周が講演し、その後に能を観るというパックで開催されています。博物館も同じようにアイデアを生かして何かできるのではないのでしょうか。

(渡辺)

彼は、一度、かなり前ですが、UXで番組を作ったときにここに来ています。

(岩野委員)

藤沢周に世阿弥について講演してもらおうとかできるといいですね。藤沢周はすごく勉強して、その本を書いているので、渡辺さんが先程話したように考えれば、いろんな方法でこの博物館を利用していける気がします。

(会長)

外になにかありますか

(廣田委員)

先程、百都委員がおっしゃったように、教科書に載ったほどの人をぜひ紹介してほしいです。吉田東伍をもっと紹介してほしいというご意見でしたが、私もまったく同じ意見です。いまだに、安田地区以外の阿賀野市の方は、博物館がどこにあるのかも分からない人が多く、昨年11月に水原の保健センターで佐藤巖さんの講演会を実施したときに、友の会以外の方が、吉田東伍記念博物館ってどこにあるのと尋ねていたし、昔の偉い人ぐらいの認識の人が多いのではないかと思います。現在になって、高校の教科書に載るように評価が高まっているので、もっと多くの市民の方に高校の教科書に載るくらいの人物だとわかってもらえるように、広報誌に大々的にPRして欲しいです。市の宝であると思ってもらえるように見開き2ページくらいに扱ってもらいたいです。

(百都委員)

安田の小学校、中学校の先生方でもよく知らないということもあるわけですし、全域で若い人にぜひ知ってもらいたいです。学校関係の方よろしく願いいたします。

(教育長)

本当に、皆様の吉田東伍に対する熱い思いが伝わってきて、私も今一度学校の子供たちや先生方に紹介していきたいという気持ちで一杯です。4月に毎月1回開催される阿賀野市全部の公立の小中学校、幼稚園の校長先生との会議がありますので、その際に今の提言をお伝えし、教育活動の中に組み込めるところがあったら、組み込んでいただきたい、希望があればこちらの方に申し込んでいただきたいという話は伝えます。

併せて、安田小学校の校長先生もいらっしゃいますので、地元として伝えられることがないかご検討いただき

たいです。中学校の学習ではどんなふうに使っているかお話いただけますか

(渡辺)

中学校は、最近の利用はないですね。安田高校では吉田東伍が掲載されている教科書は使用していないと思います。高校の教科書を阿賀野市の中学生に紹介して、阿賀野市の人が教科書に載っていることを知らせたら。興味をもってくれると思います。学社連携で動いていくという体系を作っていくといろいろとできるのではないかと考えています。

(教育長)

今のお話を聞いて安田中学校の生徒にはぜひ知ってもらいたいと思いますので、安田中学校の校長には伝えま
すし、阿賀野高校も入学式等でおじゃましますので、また校長先生にご利用くださいとお伝えします。

(岩野委員)

高校の教科書は、学校の教科の先生方に選択が任せられています。

(教育長)

新潟日報も来年度記事が掲載されるとのことですので、市民に知ってもらえるいい機会だと思います。

(吉田委員)

学校関係の利用が少ないのは、教職員が他市町村の人が多くことによるもので、周知する機会があるといい
と思います。例えば、石塚三郎のこととかもよく知る人でなければ分からないわけで、学校での出張講演と情報提
供をお願いしたいと考えます。

(会長)

今までのご意見は、学校や市民への周知、PRが足りないので、今日意見が出たことを参考に色々試してほ
しいということでした。実現できるようよろしくお願いいたします。わたしからの提案ですが、高校生や中学生へ
毎年招待券を配布することはどうでしょうか。博物館に来るきっかけになるのではないのでしょうか。

(廣田委員)

博物館の利用について、博物館の展示室を見る以外の図書コーナーの利用や調べものだけの利用について、
料金を無料にするというのはどうでしょうか。ここは、観光施設ではなく、教育施設という位置づけなのでその
ような利用方法もありなのではないのでしょうか。Wi-Fi も設置してほしいですが。検討してもらえようお願
いします。

(会長)

他よろしいでしょうか。

では、次第4の(3)その他について移ります。何か事務局からありますか。

(大岡)

—令和6年度月別来館者数等報告書について説明—

(会長)

何かご意見ご質問ありますか。ないようですね。引き続き、積極的に今日の意見を取り入れて、来館者の増加
を目指して、事業を行っていただければと思います。

その他ございませんか。

(廣田委員)

この博物館が開館して28年ということですが、そろそろ大幅な展示内容のリニューアルについて、考えてい

かなければならない時期だと思います。要望ですが、開館後新たな発見として、貞観地震の展示が付け足しとなっており、展示室からはみ出したところに追加されています。常設展示にするべきだと思いますし、データベースの展示も時代遅れの内容です。予算のない中、大変だとは思いますが、真剣に考える時期に来ているのではないのでしょうか。

(館長)

そのことにつきましては、今回市議会でもそういった話がありました。そういう時期に来ていることは、十分理解しているという中で、検討をすすめていかなければならないと市長も回答しておりましたし、そういう面でご協力をいただければと考えております。

(会長)

その件については、何か友の会としてもお手伝いができることがあれば、協力したいです。さらに令和7年度はNPO法人として、会の体制を整えていきます。

皆さん、本日は、活発なご意見などいただきましてありがとうございました。